

## 世界バイオチップ市場、2032年に297億7,000万米ドル規模へ

～日本はアジア太平洋の成長を牽引、CAGR 13.02%～

Marketysers Global Consulting LLP (2025年9月26日)

世界のバイオチップ市場は、個別化医療・ゲノム研究・診断技術の進歩により急成長を遂げています。2022年に96億4,000万米ドルであった市場規模は、2032年までに297億7,000万米ドルへ拡大し、年平均成長率(CAGR)12.1%で推移する見込みです。

特に日本は、急速な高齢化と政府のゲノム医療推進法の施行を背景に、アジア太平洋地域における成長の中心地となっています。市場は年平均13.02%で拡大し、精密診断や創薬、迅速な臨床検査への需要増が成長を後押ししています。

世界保健機関(WHO)によると、非感染性疾患は年間4,100万人の死亡原因となっており、早期発見と個別化医療の重要性が高まっています。こうした流れの中で、バイオチップは診断の未来を切り拓く鍵となる技術です。

### 👉 市場規模推移

- 2022年：96.4億米ドル
- 2032年：297.7億米ドル
- 世界CAGR：12.1% (2025～2032年)
- 日本CAGR：13.02%

日本はアジア太平洋市場のゲートウェイとして、企業にとって極めて戦略的な拠点となっています。

📞 レポートの説明と市場レポートの目次をご覧ください@

<https://www.emergenresearch.com/jp/industry-report/バイオチップ市場>

お問い合わせ：

マーケットタイザーズ・グローバル・コンサルティングLLP

プルショタム・ガウラヴ

コーポレートセールススペシャリスト

エマージェンリサーチ|ウェブ：<https://www.emergenresearch.com/>

直通：+1 (604) 757-9756

電子メール：[sales@emergenresearch.com](mailto:sales@emergenresearch.com)